

## 卸売業

回答企業29企業

### 概況

#### ～業況判断DI値 やや悪化～

今期の業況判断DI値は、前回調査比10.4ポイント低下の▲10.4と悪化し、前回調査予想値(0.0)を下回る結果となった。項目別では、売上・受注で34.5ポイント低下の▲27.6、売上数量が37.9ポイント低下の▲31.0、利益でも24.2ポイント低下の▲20.7と全項目で悪化となった。

今期は、りんご卸売業の業況が落込む時期となる事からDI値に影響した。

### 分野別の状況

#### ～総合的業況は改善で推移～

酒類等卸売業は、ねぶた祭り・各イベントの開催や記録的な猛暑の影響から売上増加となった。

食料品卸売業は、売上高はやや増加となったが、仕入価格や経費の増加により、利益圧迫し業況はやや悪化となった。

衣料品卸売業は、前期に比べると販売数量は増加したものの原材料の価格の高騰から利益は横ばいに推移した。

建設・建設資材卸売業は、仕入価格上昇するが、価格転嫁により売上は増加したが、利益は横ばいで推移。

業種間格差もあるもののアフターコロナの動きが活発となり、総合的な業況は改善傾向にある。但し、「材料・仕入価格上昇」「経費の増加」「人員不足」など不安定な材料も多く今後の動きを注視している。



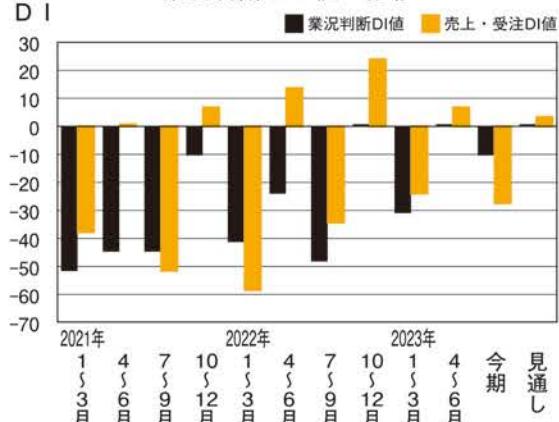
### 来期の見通し

#### ～業況判断DI値 やや改善の見通し～

来期の見通し業況判断DI値は、今回調査比10.4ポイント上昇の0.0と改善の見通しである。項目別では、売上・受注で31.1ポイント上昇の3.5、売上数量も24.1ポイント上昇の▲6.9、利益では17.2ポイント上昇の▲3.5と全項目でやや改善の見込みとなった。

来期については、りんご卸売業やタイヤ販売が活発になり、年末を迎える期待感からやや改善の見通し。

#### 業況判断DI値の推移



## 小売業

回答企業91企業

### 概況

#### ～業況判断DI値改善～



今期の業況判断DI値は、前回調査比2.2ポイント低下の▲5.5、前回調査予想値(▲4.4)を下回る結果となった。項目別では、売上・受注で5.5ポイント上昇の7.7、売上数量が3.3ポイント上昇の4.4、利益では2.2ポイント低下の▲7.7となり売上高・数量は改善となったが、利益はやや悪化となった。

小売業においては、売上は改善となるが仕入価格・原材料価格の高騰により利益確保に苦戦している。

### 分野別の状況

#### ～総合的業況はやや改善で推移～

酒類小売業は、ねぶた祭りやお盆等イベントが多く売上は増加。

食料・食品小売業も売上は増加したが、ケーキ・和菓子などは猛暑の影響もあり売上は低迷した。

自動車販売は徐々に新車の納車量が改善し、堅調に推移した。

燃料等小売業は、原油価格高騰により仕入価格が上昇、価格転嫁は図られているが、顧客の買い控えが見られ販売数量は低下している。

コンビニにおいては、ねぶた祭りや猛暑の影響から来店客が増加し、今期も好調に推移した。

### 来期の見通し

#### ～業況判断DI値 やや悪化の見通し～



来期の見通し業況判断DI値は、今回調査比9.9ポイント低下し▲15.4の見通しである。項目別では、売上・受注で12.1ポイント低下の▲4.4、売上数量が15.4ポイント低下の▲11.0、利益は9.9ポイント低下の▲17.6となった。

年末や各種イベント開催に対する期待感もあるが、来期についても、仕入価格のさらなる高騰が予想され、価格転嫁に苦慮する業種も多く、やや悪化する見込みとなった。

#### 業況判断DI値の推移

